

土砂防 だより



盛夏（朝霧高原）

静岡県支部通常総会	2
(一社)全国治水砂防協会通常総会	3
土砂災害防止月間の取組	4
• 急傾斜地パトロールの実施	
• 「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」の開催	
平成27年度砂防関係事業の代表的な完成箇所	6
土砂災害・全国防災訓練を実施	8
わがまち(掛川市・藤枝市)	9
インフォメーション	10
募集・お知らせ	12

特集

第71回全国治水砂防協会 静岡県支部通常総会

土砂災害防止月間の取組

土砂災害・全国防災訓練を実施



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催



原田支部長の挨拶

5月26日(木)、全国治水砂防協会静岡県支部の平成28年度(第71回)通常総会を静岡市内で開催しました。

総会では、支部長の原田袋井市長が議事に先立ち、静岡県支部のあゆみを紹介するとともに、昨年発生した県内の土砂災害や今年の熊本地震による土砂災害に触れ、県民の生命・財産を守るためには、国や县市町が行っている施設整備や、土砂災害警戒区域等の指定などソフト対策の推進において、砂防協会による啓蒙活動、会員相互の連携及び国や県との協調の重要性を訴えました。

続いて、川勝知事、藪田県議会副議長、栗原国土交通省砂防計画課長、岡本全国治水砂防協会理事長より御祝辞をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成27年度の事業報告・収支決算報告、平成28年度の事業計画・収支予算、会計監査役の改選が原案どおり承認されました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。



川勝知事の挨拶



栗原砂防計画課長の挨拶



岡本理事長の挨拶



藪田県議会副議長の挨拶

土砂災害防止講習会が開催される

静岡県支部通常総会終了後、県内直轄事務所長、各市町長及び各土木事務所長等多くの参加者のもと、土砂災害防止講習会を開催しました。

栗原国土交通省砂防計画課長には「土砂災害を防ぎ 命とくらしを守る」と題し、熊本地震による土砂災害の発生状況とその対応、平成28年度新規事業である火山噴火緊急減災対策事業の紹介及びソフト対策などについて講演していただきました。また、岡本全国治水砂防協会理事長には、「砂防会館の歴史」と題し、貴重な資料や映像を交えて講演いただくとともに、砂防協会からの「熊本地震による土砂災害を踏まえた緊急提言」について紹介がありました。



講演会の様子



栗原砂防計画課長の講演



岡本理事長の講演

全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月24日(火)、(一社)全国治水砂防協会の平成28年度(第80回)通常総会が、会員多数の出席のもと、砂防会館で開催されました。

当日は、静岡県選出国會議員をはじめ多くの国會議員が来賓として御出席されました。当支部からは支部長の原田袋井市長をはじめ9名の会員に御出席いただきました。

綿貫会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、平成27年度の事業報告・収支決算報告が承認され、平成28年度の事業計画・収支予算が報告されました。

また、総会開会に先立ち、昨年引き続き、語り部(かたりすと)としてご活躍中の平野啓子氏(静岡県沼津市出身、大阪芸術大学放送学科教授、元NHKキャスター)による「証言から、語りで未来に届ける」と題した特別講演が行われました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



総会の様子

本県の参加市町

袋井市、島田市、河津町、東伊豆町、
西伊豆町、伊豆市、裾野市、富士宮市、
川根本町(計9市町) ※太字は本人参加



宮内国土交通大臣政務官の挨拶



平野氏の講演

村松会計監査役が功労者表彰を受賞

(一社)全国治水砂防協会の総会終了後、協会表彰規定に基づく功労者表彰が行われ、今回村松藤雄会計監査役が受賞されました。

村松会計監査役は、平成12年3月から森町長に就任されて以来、高い防災意識を持たれ、安全・安心な暮らしを実感できるまちづくりに取り組んでこられました。

静岡県支部においては、平成17年7月から10年11ヶ月間、会計監査役を務められました。また、砂防協会の通常総会をはじめ全国治水砂防促進大会や砂防事業推進の要望活動への参加など協会の発展に尽力されており、これらの協会活動の功績が認められ、今回の受賞となりました。



表彰式の状況

会計監査役の改選結果

村松会計監査役から辞職願が提出されたことを受け、後任に鈴木川根本町長が就く改選(案)が支部総会で承認されました。なお、就任期間は、平成29年度総会までとなります。

平成28年度「土砂災害防止月間」

6月1日(水)～30日(木)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線や台風により雨量が多く地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の推進
- 「みんなで防ごう土砂災害」の開催
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施 など

表[平成27年に発生した土砂災害件数]

H27年土砂災害発生	土石流	地すべり	がけ崩れ	計
全国土砂災害発生件数	145	44	599	788
静岡県土砂災害発生件数	0	0	69	69



立看板の設置(静岡県庁正面玄関)

～住民と砂防ボランティアとの協働～

1 急傾斜地パトロールの実施

6月1日から6月30日に、県内の急傾斜地崩壊危険区域において、地域住民や砂防ボランティア、土木事務所、危機管理局、市町、警察、消防と協働で、土砂災害防止施設の異状の有無、法面の崩壊、排水路の機能状況などの点検をしました。

施設の破損や小規模な崩壊などの、異状が確認された箇所については、早急に改善設置を講じていきます。



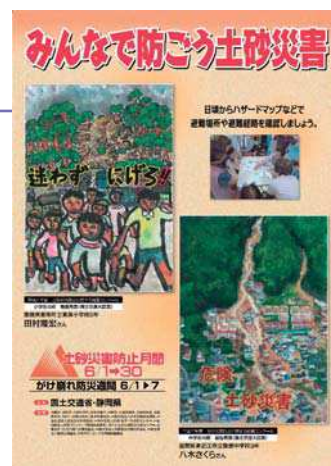
急傾斜地パトロールの状況

2 市町における広報活動の取組み

各市町では、広報誌、ホームページ等を活用して、土砂災害対策の重要性を広報していただくとともに、庁舎の横断幕・懸垂幕の掲示、公用車を活用した啓発広報の実施、土砂災害防止講習会の開催など、土砂災害防止広報活動に取り組んでいただきました。



懸垂幕掲示(富士宮市)



平成28年度 土砂災害防止月間ポスター

の取組

広報誌への掲載	沼津市、三島市、富士宮市、島田市、富士市、焼津市、掛川市、藤枝市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、川根本町
ホームページにおける広報	砂防課、三島市、藤枝市、伊豆市
横断幕、懸垂幕の掲示	静岡市、浜松市、沼津市、富士宮市、伊東市、磐田市、掛川市、下田市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、河津町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、川根本町、森町、熱海土木事務所、沼津土木事務所、富士土木事務所、静岡土木事務所、袋井土木事務所
土砂災害防止講習会の開催	浜松市、沼津市、熱海市、富士宮市、島田市、磐田市、焼津市、藤枝市、袋井市、下田市、菊川市、伊豆の国市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、森町
ラジオ、テレビ放送	K-mix、SBSラジオ、CATV(下田市)、コミュニティFM(熱海市、島田市)
ポスター掲示	県内市町関連機関、県内ファミリーマート約250店舗におけるポスター掲示

3 みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の開催

6月18日(土)、土砂災害の恐ろしさや、砂防関係事業の重要性を県民のみなさまに理解していただくため、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」が開催されました。

この行事は、「砂防フェスティバル」として、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市、静岡地方気象台の共催により開催されているもので、土砂災害防止に関するパネル展示などが行われました。



会場の様子



平成27年度

砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂防事業

かのうきたさわ

●加納北沢砂防堰堤工 (賀茂郡南伊豆町加納地先)



加納北沢では、砂防堰堤1基を整備し、下流域の人家7戸と国道の保全を図りました。

しんきょうさわ

●神橋沢砂防堰堤工 (静岡市葵区平山地先)



神橋沢では、砂防堰堤1基整備し、下流域の人家39戸と市道の保全を図りました。

おおやしざわみぎしせん

●大谷西沢右支川砂防堰堤工 (浜松市天竜区大谷地先)



大谷西沢右支川では、砂防堰堤1基整備し、下流域の人家23戸、特別養護老人ホーム及び市道の保全を図りました。

やとかわみぎしせん

●谷戸川右支川砂防堰堤工 (伊豆の国市田京地先)



谷戸川右支川では、砂防堰堤1基整備し、下流域の人家18戸、グループホーム及び市道の保全を図りました。

●砂防事業

箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
加納北沢	下田土木	賀茂郡南伊豆町加納	137	H24	砂防堰堤工 H=5.5m、L=37.5m
谷戸川右支川	沼津土木	伊豆の国市田京	125	H24	砂防堰堤工 H=7.0m、L=38.5m
東シッペイ沢	沼津土木	伊豆市熊坂	189	H24	砂防堰堤工 H=9.5m、L=48.0m
神橋沢	静岡土木	静岡市葵区平山	278	H21	砂防堰堤工 H=10.0m、L=37.5m
山ノ神川	静岡土木	静岡市清水区柏尾	153	H23	砂防堰堤工 H=7.0m、L=42.5m
三角町西沢	静岡土木	静岡市駿河区丸子	89	H23	砂防堰堤工 H=9.0m、L=40.5m
大谷西沢右支川	浜松土木	浜松市天竜区大谷	178	H24	砂防堰堤工 H=13.0m、L=51.0m

急傾斜地崩壊対策事業・地すべり対策事業

あ ら り む かい だ

●安良里向田法面工 (賀茂郡西伊豆町安良里地内)



平成25年7月の豪雨により不安定化した斜面に、急傾斜地崩壊対策工事として法面工を実施し、人家25戸と要配慮者利用施設である賀茂幼稚園の保全を図りました。

かな や ほん まちみなみうら

●金谷本町南裏擁壁工 (島田市金谷南町地内)



急傾斜地崩壊対策工事として擁壁工を実施し、人家16戸の保全を図りました。

あだ やま

●仇山擁壁工 (浜松市天竜区春野町気田地内)



急傾斜地崩壊対策工事として待受け擁壁工及び法面工を実施し、人家8戸の保全を図りました。

おお たき

●大滝地すべり集水井工 (浜松市天竜区佐久間町大滝地内)



地すべり対策工事として集水井工を実施し、人家40戸、第2次緊急輸送路である国道152号や、県道、(一級河川)天竜川等の保全を図りました。

●急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
片瀬山下	賀茂郡東伊豆町片瀬	107	H21	擁壁工 L=102m
前根原	賀茂郡南伊豆町青市	80	H25	擁壁工 L=70m
安良里向田	賀茂郡西伊豆町安良里	174	H25	法面工 L=74m
宗光寺横山段No.2	伊豆の国市宗光寺	133	H24	擁壁工 L=152m
小海中ノ洞	沼津市小海	136	H21	擁壁工 L=115m
桃園山下No.2	裾野市桃園	5	H26	擁壁工 L=10m
牧之郷アラク	伊豆市牧之郷	87	H21	擁壁工 L=128m
北沼上川合野No.2	静岡市葵区北沼上	74	H21	法面工 L=379m
中ノ郷瀧ヶ谷No.2	静岡市葵区中之郷	72	H25	擁壁工 L=60m
建穂櫛宜山	静岡市葵区建穂	99	H25	擁壁工 L=52m
善福寺	静岡市清水区蒲原	227	H22	法面工 L=225m
金谷本町南裏	島田市金谷南町	97	H24	擁壁工 L=155m
谷畑	榛原郡川根本町東藤川	96	H23	擁壁工 L=133m
東組	菊川市下平川	206	H23	擁壁工 L=360m
倉真片山A	掛川市倉真	166	H21	擁壁工 L=189m
仇山	浜松市天竜区春野町気田	225	H21	擁壁工 L=192m
新道	浜松市天竜区水窪町奥領家	23	H27	法面工 L=33m
和地下之谷	浜松市西区和地町	23	H26	法面工 L=46m

●地すべり対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
平ノ尾(国交省)	静岡市葵区諸子沢	322	H21	横ボーリング工500m、アンカー工2,400m
ウスイ坂南(国交省)	藤枝市中ノ合	120	H23	横ボーリング工1,000m、水路工500m
大滝(国交省)	浜松市天竜区佐久間町大滝	1,500	H13	集水井工 4基
仙戸(国交省)	浜松市天竜区佐久間町大井	140	H23	集水井工 1基、横ボーリング工500m
由見(林野庁)	榛原郡川根本町下長尾	415	H19	集水井工 5基、アンカー工 1,600m

土砂災害・全国防災訓練を実施

～「早めの避難」家族を守る合い言葉～

6月5日(日)、県下一斉に「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。

この訓練は、梅雨前線等豪雨の影響による土砂災害の発生に備え、災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を図ることを目的に、毎年、全国統一実施日を中心に全国の市町村で実施しています。

本県では、統一実施日に25市町で地元地域住民や行政関係者など約25,000人が参加し、避難勧告に伴う避難所への避難訓練や情報伝達訓練、ハザードマップの作成、土砂災害に関する講習会などを実施しました。

また、6月5日以外の日には、8市町で訓練を実施しました。



富士市(図上訓練)

訓練参加市町

静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、吉田町、川根本町、森町 (計33市町)

訓練の状況



幼稚園児による避難
(6月3日:清水町)



自主防災組織による避難誘導
(6月5日:磐田市)



土砂災害防止講習会
(6月5日:袋井市)



車椅子による要配慮者避難
(6月5日:藤枝市)



手作りハザードマップの作成(DIG)
(6月5日:浜松市)



模型を活用した土砂災害の説明
(6月5日:伊豆市)



小学校での避難所体験
(6月15日:静岡市)



警察による避難誘導
(6月5日:熱海市)



住民による避難行動
(6月5日:森町)



土砂災害防止講習会
(6月5日:焼津市)



手作りハザードマップの作成(DIG)
(6月5日:川根本町)



土砂災害警戒情報の発表
(6月5日:静岡県庁)

掛川市

都市建設部

『掛川モデル』の紹介

掛川市は、東西約15km南北約30km、中心部には新幹線掛川駅、東名高速道路掛川IC、国道1号が横断しており、北部は南アルプス南端に通じる山地、中央部には野鳥の宝庫としても有名な小笠山があり、その南には平野が広がり、南端は遠州灘に面して約10kmの海岸線があります。海岸地域では、激しい季節風「遠州の空っ風」が吹きつけ、古くから飛砂に苦しめられてきました。江戸時代末期から地域の人達は、海岸方向斜めに設けた「堆砂垣」で人工砂丘を作り、その上にクロマツを植栽することで、強風や飛砂を海側に受け流し大切な耕地を守ってきました。この海岸林は「斜め海岸林」と呼ばれ国内唯一の貴重な景観となっています。

この地域は、南海トラフ巨大地震で想定される津波により浸水被害が想定されており、市では海岸林の従来機能「飛砂防備」に「津波への減災」機能を備えることを目的として、レベル2津波に対応した高さに海岸林を嵩上げ盛土し、抵抗性クロマツや広葉樹を植樹する海岸防災林強化事業「掛川モデル」を平成26年度に着手しました。「次世代につながる安心の絆 掛川潮騒の杜」をテーマに安全、協働、利活用をコンセプトとして、国、県事業との連携、協力をいただき、植樹祭や育樹祭の開催など、整備から維持管理、活用までを市民、企業、NPO団体等との協働により推進しています。

1世紀半以上もの間住民達が厳しい自然環境と闘い、安全な地域や豊かな生活環境を守ってきた歴史は現在のまちづくりにつながり、形を変えて未来につなげていかななくてはなりません。

次世代につながる安心の絆 しおさいもり 掛川潮騒の杜



H28.6.11 植樹祭のようす(900人参加)

藤枝市

河川課

藤枝市は、県のほぼ中央に位置し、南北に長く、北部は赤石山系の南端に接し豊かな緑に恵まれています。山間部から流れる瀬戸川に沿って広がる志太平洋野に、市街地が形成され、古くから東海道の宿場町としてにぎわい、現在も東海道の交通の要衝として発展しています。

特に、にぎわいや活性化が進んでいるのが、JR藤枝駅周辺を中心市街地です。官民連携により、コンパクトシティへの転換を目指す中心市街地活性化の取組みを平成20年にスタートして以来、映画館や図書館、商業施設、結婚式場、FM放送スタジオが入る大型複合施設、ホテル、近隣公園、マンションなどが整備され、駅北口では本市初の再開発事業が進むなど、駅周辺が様変わりしています。

また、道路空間を活用し、「芸術・文化」「交流・コミュニティ」「にぎわい・魅力」の創造活動の場である「て～しゃばストリート」は今年で8回目を数え、毎月開催しています。さらに、冬の風物詩として定着し、県内街なかイルミネーションとしては最大級の規模を誇る「ルミスタ★ふじえだ」は、26万球のLEDが駅周辺を彩るなど、中心市街地には魅力ある施設やイベントでいっぱいです。

中心市街地以外にも、再整備が進む蓮華寺池公園、瀬戸谷地区の温泉やキャンプ場、岡部地区の国登録有形文化財「大旅籠柏屋」や市指定文化財「内野本陣址」、玉露の里など、多くの魅力ある場所があります。ぜひ、皆さんも藤枝へお越しください。



様変わりした藤枝駅南口



多くの人でにぎわう「て～しゃばストリート」

平成28年度(公社)日本地すべり学会中部支部総会及び講演会が開催される

4月20日(水)に、(公社)日本地すべり学会中部支部総会が長野市生涯学習センターで開催されました。

議事では、平成27年度の事業報告及び決算報告と平成28年度の事業計画・予算(案)が承認され、9月15日(木)～16日(金)で計画されている石川県白山市甚之助谷地区・湯の谷地区の現地見学会・現地検討会の紹介がありました。

総会に続く特別講演では、信州大学教授の菊池聡氏による「災害と防災のための心理学」と題した講演が行われました。



総会の様子

大内グリーンベルトモデル地区で恒例の「タケノコ掘り」イベントを実施

大内グリーンベルトモデル地区内の杉谷津沢(静岡県清水区)において、4月29日(金)に毎年恒例の「タケノコ掘り」イベントが地元の高部小学校、高部東小学校の親子を含めた約120名の参加のもと行われました。このタケノコ掘りは、竹林の拡大を抑制し、健全な法面を保持する大切な作業であり、子供たちの貴重な体験学習になることから、「森と水辺を育てる会」の主催、指導のもと毎年行われています。

子供たちは、このモデル地区においてタケノコ掘りや里山の維持管理など1年を通して自然環境学習に取り組んでいます。



砂防堰堤前の全体説明



タケノコ掘りの様子

環富士山火山防災連絡会総会が開催される

5月23日(月)に、富士山周辺の静岡県・山梨県の15の市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会を、小山町総合文化会館で開催され、静岡県砂防課はオブザーバーとして参加しました。

総会では、平成27年度事業報告、平成28年度事業計画が承認されるとともに、役員交代があり、会長に小山町長、副会長に富士吉田市長が選出されました。また、富士山火山防災対策協議会に山梨県都留市が加入したため、本総会においても都留市の加入が承認され、富士山周辺の静岡県・山梨県の16の市町村で構成されることとなりました。

その後、内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(調査・企画担当)付参事官補佐の相澤氏による「集客施設等における噴火時等の避難確保計画作成について」の演題で研修会が行われました。



総会の様子

砂防学会東海支部設立総会が開催される

4月23日(土)に、産官学の連携を深め、災害時の迅速な対応につなげるため、東海4県の土砂災害対策に携わる行政担当者と民間技術者、研究者からなる砂防学会東海支部が、静岡大学で設立総会を開催しました。支部長には静岡大学大学院土屋智教授が就任しました。同学会の支部設立は、関西、北海道、東北、関東に続き5番目になります。



総会参加者による記念写真

「第9回親子で大谷崩れのもりづくり」イベントが開催される

7月3日(日)に、「いのち森づくり少年団を支援する会」が主催する、「第9回親子で大谷崩れのもりづくり」が、大谷崩(おおやくずれ：静岡市)で開催されました。

当日は、静岡市在住の方々や県立富岳館高校の生徒など74名が参加され、現地の自生種であるヤシャブシやヤマハンノキの苗木を入れた再生紙鉢を山腹に植樹しました。

大谷崩は、鳶山崩れ(とんびやまくずれ：富山県)と稗田山崩れ(ひえだやまくずれ：長野県)とともに日本三大崩れの一つに数えられる安倍川上流の大崩壊地で、国土交通省静岡河川事務所により床固工や山腹工等の直轄砂防事業が進められております。



植樹作業の状況



集合写真

平成28年度(第34回)土砂災害防止「全国の集い」in岡山が開催される

6月21日(火)～22日(水)に、平成28年度(第34回)土砂災害防止「全国の集い」及び現地研修会が、岡山県岡山市等で開催されました。

パネルディスカッションでは、岡山県における土砂災害対策の関係者などがパネリストになり、「いつかはくる！もんげー土砂災害にそなえる」と題して、岡山県における土砂災害のリスクやハード事業とソフト事業の役割分担について、活発な意見交換が行われました。

2日目の現地研修会では、砂防学習の工夫や伝承についての説明や平成16年の災害に対する対応などについて説明が行われました。

また、同時開催された「砂防ボランティア全国のつどい」において、本県から森下則雄氏が功労者表彰を受賞されました。



現場研修会の様子(井風呂谷川砂防堰堤)

アルメニア防災関係者が門島地すべりを視察

5月26日(木)に、国際協力機構(JICA)の研修で来日したアルメニアの非常事態省などの関係者8名が門島地すべり(浜松市天竜区)を視察し、浜松土木事務所天竜支局より現地状況やこれまでの対応について説明を行いました。参加者より、監視体制、崩壊の予測方法や対策費用など多くの質問が出され、活発な質疑応答が行われました。



工事概要の説明状況

警戒避難体制の説明会を開催

5月に各土木事務所において、土木事務所、危機管理局、市町の職員を対象に、土砂災害に対する警戒避難体制の説明会を開催しました。

説明会では、県砂防課より近年の土砂災害の発生状況や、昨年1月に改正された土砂災害防止法に関する事項として、土砂災害警戒区域等の指定や警戒避難体制の充実・強化、土砂災害防災訓練の実施等について説明を行いました。また、静岡地方気象台から、防災気象情報の改善や土砂災害警戒情報に関する説明がされました。



警戒避難体制の説明会

【平成28年度】土砂災害防止啓発用品の紹介

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただき、ありがとうございました。



募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

【募集対象】小学生・中学生 【応募期間】6月1日(水)～9月15日(木)

【応募方法】作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。

【応募先】〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 砂防班

TEL 054-221-3044 FAX 054-221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



ジオフォーラム 2016 IN 静岡

【日時】平成28年10月14日(金) 10:00～17:00

【会場】しずぎんホール ユーフォニア

※全国治水砂防協会が協賛しています。

参加
無料



8月25日(木)～27日(土) 市町長等砂防事業県外視察(長崎県)

9月 1日(木) 防災の日

9月15日(木)～16日(金) (公社)日本地すべり学会中部支部現地見学会・検討会(石川県白山市)

11月 上旬 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(三重県)

11月 上旬 市町等砂防担当職員研修(静岡県内)

11月15日(火) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)

11月15日(火) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館等)



【表紙写真】

盛夏(撮影地:朝霧高原)

山田 静雄さん(静岡県島田市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

今年4月14日に発生した熊本地震では、土砂災害等により多くの方が被災されました。災害により被害に遭

われた方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

6月18日には静岡市で「砂防フェスティバル2016」が開催され、当支部では土砂災害に関するクイズにご回答いただいた方に、土砂災害防止啓発グッズを配布させていただきました。

今後も土砂災害の啓発・砂防事業の普及に努めてまいりたいと思いますので、当協会へのご理解・ご協力をよろしく願います。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第190号 発行日:平成28年7月15日

編集・発行:全国治水砂防協会静岡支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail:sabo@pref.shizuoka.lg.jp